

Trait d'union

トレデュニオン

VOL. **45**
2014-4



- シューフィッター補習講座 (東日本支部)
「ヒロカワ製靴」「匠ジャパン」革靴工場見学 2-9
- シューフィッター補習講座 (西日本支部)
「山陽」タンナー工場見学 10-14
- 「靴を考える会」の活動 15-18
- FHA 会員向け「足サイズ計測調査事業 (4歳~18歳) 報告会」開催 19
- 事務局便り 20



一般社団法人 **足と靴と健康協議会**
FOOT, FOOTWEAR AND HEALTH ASSOCIATION

「ヒロカワ製靴」「匠ジャパン」革靴工場見学

SFC 東日本副支部長 小菌 恵子

(株) ヒロカワ製靴 (代表取締役：廣川雅一) 東京都墨田区堤通 1-12-11

TEL.03-3610-3737 FAX.03-3616-6915 <http://www.scotchgrain.co.jp>

(有) 匠ジャパン (代表取締役：廣川益弘) 東京都墨田区堤通 1-17-24

TEL.03-5631-4192 FAX.03-5631-4100 E-mail : takumij@crux.ocn.ne.jp



工場見学前に、廣川社長より会社概要、モノづくり姿勢、製法の特徴等、説明を受ける。



2013年11月12日、ヒロカワ製靴訪問。自社ブランド「スコッチグレイン」を量産、グッドイヤーウエルト (GY) 製法専門工場で、日産420足の生産を行っている。製甲は東北地方が主力の外注だが、他の工程は全て墨田区の本社工場生産。OEM生産は行わない。尚、アンテナショップとして東京3店舗、大阪1店舗、アウトレット4店舗の直営店がある。そこではGY製法の婦人靴「スコッチグレイン」も販売している。

現社長廣川雅一氏は2代目にあたる。創業は1964年、素材選定から製品出荷まで技術と品質にこだわり、お客様に安心して喜んでいただける靴を、時間を掛けて丁寧に育てる事に全社員一丸となっている。

匠ジャパンは「スコッチグレイン」専門の「靴修工房」として商品のリペア、純正部品でメンテナンス一切を受け付けている。日産60足、オールソール修理で40足、その他20足。工場はヒロカワ製靴に隣接、創業は2008年、社長は廣川益弘氏、製靴社長の弟にあたる。

今回の両工場見学は当方の無理なお願いで1日

60名を希望しましたが、工場面積の関係等も含めて当日は午前午後2回に分け、30名ずつを引き受けていただいた事には深く感謝を申し上げます。会員の見学申込み受付は数日で定員オーバー、お断りの毎日が続きましたが2014年度も企画できるよう両社長にお願いし快諾をいただきましたので、参加できなかった皆様には次回お申込みを願います。

又同業者、工場技術者を含めて分け隔てなく希望者全員ウエルカムで、生産の現場を詳細に説明していただいた事には、驚きと共に会社の自信と心意気を強く感じました。

見学は3班に分かれスタート、社長自ら1班を引率、熱のこもった解説に皆引き込まれました。甲材調達、国内では(株)山陽が主力、海外はヨーロッパで特にフランスが中心、底材(ベンズ)はイタリア。直接買い付けに行き入荷後の全数検査、ランク分けなどは社長の仕事の様です。

それではプライマリーコースで修得したGYの生産工程を、「PCテキスト：靴の知識」も参考に、写真で確認しながら改めて順を追って復習してみましょう。

〈底材裁断〉



底革（ベンズ・輸入）：表底、中底等、裁断前の区分け解説



中底裁断：キズを見ながら歩留りに気をつかい裁断



パーツの色々：他に八巻もある



下ごしらえ作業：踵部に八巻を接着固定

〈甲革裁断〉



甲革棚：商品の価格ランクに合わせ等級別分類を行う



甲革の見分け方、社長解説



型入説明：伸び方向・キズ等・部位の優劣など



裁断：銀面の再チェック確認

〈製甲作業〉



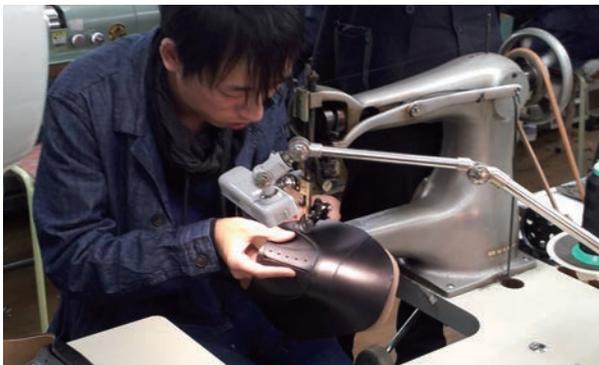
小ロット商品や量産外注向け下拵え作業が行われている



革スキ作業



ミシン作業



最終上がりミシン

〈底付前作業〉



靴型棚：サイズはカラー別で管理されている



リブセット：中底にリブテープを貼り付ける
(中底裁断後に行う)



中底、靴型のセットを組む



中底固定：タックス留め



先芯入れ：熱で接着剤を溶かす（ホットメルト）



横つり込み、ヒールシート前の状態



月型芯入れ：接着剤を塗布して固定

〈底付工程〉



サイドラスター：ヒールシートで踵をつり込み後、横つり込み



トールスター：爪先つり込み



つり込み終了



腰留め：腰部（くるぶし）の深さを決める



すくい縫い：細革・甲革・リブを同時に縫い付ける



インシムトリミング：余分な甲革を取り去る



シャンク・中物貼り付け：プラスチックシャンクはスポンジ巻き 中物は住宅用内装材（EVA ベース）採用



底貼り：接着剤をぬり圧着する
(甲部のビニールカバーは、黒以外すべてにかける)



切裁：余分な表底まわりを切りとる



出縫い糸、針、糸につける松脂の解説



出縫い：細革との縫いつけ



ロール掛け：底面形状を出し靴型に馴染ませる



底面にオーナメントとして飾り車かけ



コバ削り：コバの形状はカッターにより様々



靴型抜き：抜き易いよう釣込時、踵にスベリ紙を入れておく



踵付け



折り曲げた靴型を元の平らに戻す



踵削り



最終チェック：汚れ落とし、シワ取り、商品検査



コバ磨き：コバ、踵まわりの仕上げ

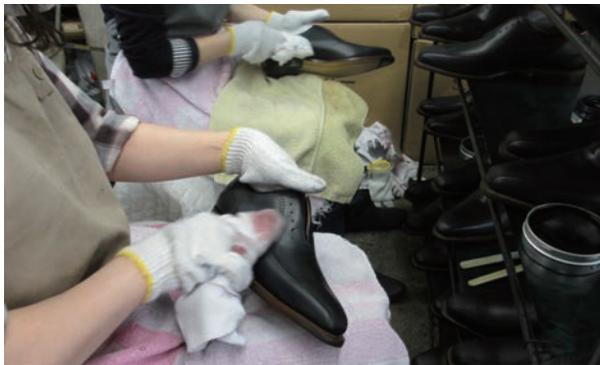


底マーク押し：底マーク押しの前にサイズ印押しがある

〈仕上げ作業〉



吹き付け
↓



クリーム仕上げ
↓



紐通し
↓



シューキーパー：すべての商品に入る、木製は上代 45,000 以上

〈モルト仕上げ〉

- ・この仕上げ方法に適した甲革が条件
- ・油性クリームを全体に薄く塗る
- ・爪先、踵に焦がしを入れる



- ・油性クリームのフタにウイスキーをたらす
- ・布にウイスキーを湿らせながら、円を描くようになでる



靴箱入れ：完成納品へ

〈修理：匠ジャパン〉



完成品の細部チェック：社長は毎日現場から離れない



底剥離：ヒールを取り、出縫い、すくい縫いの糸をばらす



コバインク仕上げ



甲部の修理：八方ミシンが活躍



オールソール部分の完成品

〈アンケート結果〉

多かったコメントを記載。(数字は同意見)

【ヒロカワ製靴】

- ・グッドイヤー製法を余す所なく見学でき、とてもよく理解できた (21)
- ・全ての工程をオープンにしているのはすごい、技術とプライドがなせる業と思った (6)
- ・革を選別する際の具体的なポイント、見方、注意箇所の説明は特に勉強になった (5)
- ・ヒロカワさんの靴造りのこだわりが感じられた工場見学だった (5)
- ・職人の方々が気さくに答えてくれたのが素晴らしく、分かりやすかった (4)
- ・工場内がコンパクトで見やすく、説明も親切丁寧で分かりやすく良かった (3)
- ・底裁断をはじめ、ほとんど全ての工程を自社で行っているという事には驚いた (3)
- ・若い人が楽しい雰囲気、たくさん働いているのはびっくりした (3)
- ・働いている人が生き生きと、ひとりひとりのスキルも高く良い仕事をしている (3)
- ・接客に生かせる知識が得られてとても良かった (3)
- ・自社製品に対する愛情がとても伝わってきた、参加して良かった (2)

【匠ジャパン】

- ・とても細かく丁寧な作業に驚いた。こだわりと確かな技術に感動した (10)
- ・修理工程の細かい説明を受け、とても勉強になった。仕事に活かせる見学だった (6)
- ・初めて靴の修理の現場を見学、色々な手順と細かく手間をかける職人技に驚嘆 (4)
- ・お客様にお手入れの大切さ、履き良い靴は修理してまで履く事を伝えたい (2)
- ・靴に再び命が吹き込まれるようで感動した (2)
- ・アッパーの修理などもたくさん見たい、もっと見学の時間が欲しかった (2)
- ・修理は年配の職人さんの仕事、のイメージだったが若い人達が多いので驚いた (2)

「山陽」タンナー工場見学

SFC 西日本支部 朝守 文子

(株) 山陽

(代表取締役社長：川見 斉) 兵庫県姫路市東郷町 43

TEL. 079-281-2141 FAX. 079-282-5710 <http://www.sanyotan.co.jp>



正面入口



シューフィッター
参加者 48 名、
皆熱心に…



工場概要、皮革の
基礎知識を解説
(営業企画室長
塩田和也)

2013 年 11 月 28 日 (木) 参加 48 名にて山陽訪問。日本を代表する大手タンナーの 1 社であり、創業は 1911 年 102 年の歴史をもつ。成牛皮の原皮は北米、ヨーロッパは中牛皮輸入が大半。出荷後商品化される用途は、革靴 80%・バッグ袋小物 20%。鞣工程は、クロム 90%・タンニン 10%。タンニン鞣革は主にカバン用として加工される。

原皮は国際相場で価格変動が激しい、円安の影響や、近年中国の大量買付けが目立ち日本市場も高値で推移が続いており、タンナーだけでなく加工業者も生産コストに見合った革の入手、技術改革で苦しんでいるとのことであった。又、中国からの直接買い付けも目立つようである。

企業方針としては「地球環境に配慮し、お客様のニーズにお答えし、高品質高機能製品を提供、技術革新を続ける企業を目指しています」とお聞きしました。今回で 4 回目となる (株) 山陽の工場見学に際し、社員の皆様より温かい心遣いを

いただきました事、改めて御礼申し上げます。

そして合成皮革とは違う天然皮革の良さ、「足になじむ心地よいフィット感」「通気性・透湿性に優れ蒸れ難い」「足を守る保温効果」「肌に優しい質感」などなど、優れた特徴を我々シューフィッターとしても多くのお客様にお伝えしなければならないと強く感じました。

見学前に、営業企画室長 塩田氏より「皮革の知識」DVD 上映と共に説明を受ける。その後、参加者 48 名が 3 班に分かれスタート、水漬け脱毛から鞣工程では大量に水を使用するので水浸しの足元に十分注意し、そろそろと歩きながら解説に目と耳を集中。

前ページ「革靴工場見学」では生産工程を確認、復習をしました。それでは PC テキスト「革のできるまで」(7-24・7-25) 工程図に合わせながら、これから順を追って皮革の復習をしてみましょう。

〈準備作業〉



原皮保管倉庫：温度 10℃以下、湿度調節



脱毛後の状態



水漬け：ドラムに入れ、原皮に付着している汚物や塩を取り除く



バンドナイフ：皮の裏面に付着の不用物を取り厚さを揃える

〈鞣工程〉



水漬け後：生皮に戻った状態



クロム鞣工程用薬品類の一部



石灰漬け：コラーゲン以外の物質を除去。次に脱毛へ



鞣し：タイコ（ドラム）に中で水と共に鞣剤を浸透させる



鞣の定義は、皮に防腐性と共に耐熱性を与える事



等級選別：銀面の状態を検査



クロム鞣：ウエットブルーと言われる状態（青色）



シェーピング：裏削りによって厚度を調整し均一にする



水絞り：革を伸ばし多量の水分を取り除く



再鞣し：加脂、染色、革の滑らかさを調整



半裁：大判、1頭の革は背筋に沿って2つに裁断する



セッター：染色した革の水分を取り、革を伸ばす

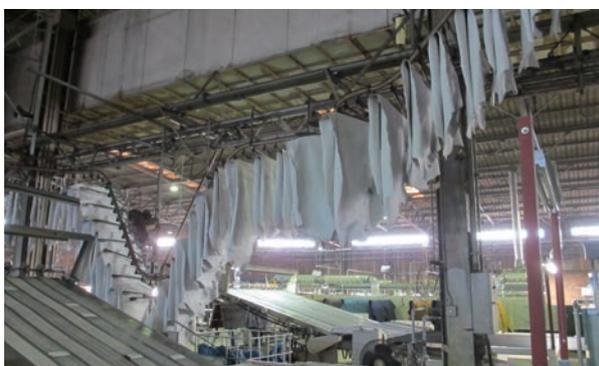
〈乾燥及び仕上工程〉



真空乾燥：上から降りる板とセットになり真空状態で乾燥



ロールコーター：塗装中



ガラ干し：工場内を回るラインに乗せ自然乾燥



ロールコーター：塗装済みの状態



バイブレーション：乾燥した革をほぐし柔らかくする



吹き付け：スプレーガンによる着色。手塗りの工程もある



パフイング：種類用途に合わせてサンドペーパーで起毛加工

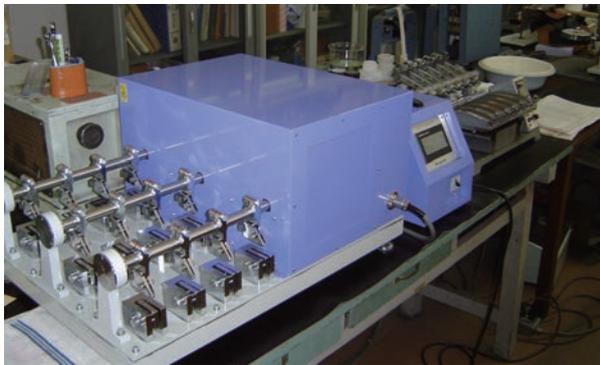


定着：乾燥させて定着へ



アイロン・型押：プレスで平滑にする。型版で様々に変化

〈品質検査〉



物性試験：これは屈曲試験機、様々な試験機で品質検査



外観検査：触診、視診による



計量：計量機を通して坪面積が決定



梱包：銀面をいたわりながら、数枚ずつ巻き込む

〈アンケート結果〉

多かったコメントを記載。(数字は同意見)

- ・ 工程一つ一つの説明を聞きながら見ることができ、大変勉強になった (17)
- ・ 皮から革へは多くの人の手と長い工程があることに驚いた (16)
- ・ どれも手間のかかる作業で皮革製品を大切にしたいと思った (6)
- ・ 書籍などの知識だけでは分からないと痛感、実際にみて理解が深まった (6)
- ・ 多くの工程を見て、普段扱っている皮革製品に対する見方が変わった (5)
- ・ 機械の音が大きく、説明が聞き取り難かったのが残念だった (4)
- ・ 工場内の皮や薬品のニオイがあれほどきついとは知らなかった (4)
- ・ 説明がわかりやすく、質問にも丁寧に答えてもらい理解できて良かった (3)
- ・ 質の良い革をつくるには様々な条件が揃わないと難しい、ことを知った (2)
- ・ ドラムをはじめ、どの機械もすごく大きいのはビックリ (2)
- ・ 知りえた知識を、お客様への説明や売り場での指導に役立てたい (2)
- ・ 見るだけでなく、実際に工程ごとに触って確かめる事ができ良かった (2)
- ・ DVD も分かりやすかったが、知りたい工程を間近でみられて良かった (2)

「靴を考える会」の活動

「靴を考える会」オブザーバー：シューフィッター
大木 金次



上級 SF 大木 金次

FHA 事務局では当会と別の団体である「靴を考える会」に要請して、関西地区でシューフィッターを中心に活発に活動されているこの会の活動状況を、たくさんの SF の方々に知っていただきたい、又賛同されて多くの方に参加していただき各自のスキルアップに役立てて、という願いから「大木金次」氏に原稿の執筆をいただきました。この会の設立から現在、そして今後に向けての活動指針を是非お読み下さい。そして皆様からのご意見を FHA 事務局にお寄せ下さい。

【設立経過】

設立時の会名称は「プロフェッショナルシューフィッティングを読む会」、立ち上げた昭和 62 年（1987 年）当時は、すでに一般社団法人足と靴と健康協議会によるシューフィッター認定制度も開始されており、健康志向や予防医学の観点から靴の重要性に対して全国的に関心が高まり、日本人の足にあった科学的な靴づくりを考えようとする機運が盛り上がっていた。靴医学会も同じくして昭和 62 年に創立されているが、靴に対する勉強会の必要性を皆痛切に感じていた。

発起人は荻原一輝〔荻原整形外科病院・靴医学会理事〕、玉廣俊雄〔(株) シューズクリニック 105〕、神部俊平〔大塚製靴 (株)〕、大木金次〔(株) 大丸〕であった。最初荻原一輝氏とお会いしたのは、当時 (株) 大丸各店のシューフィッターが集まり靴の勉強会を重ねていた

が、さらに足の解剖学を探求しようと先生をご紹介頂き、神戸の荻原整形外科病院において荻原一輝院長自らに、ご教授頂いた。

ところで会の名称をつけた由来は、端的に足と靴の科学について総合的な知識を持った人が少なかったことから、まず書籍「プロフェッショナルシューフィッティング〔1987 年、日本製靴 (株) 日本語訳出版 現在絶版〕」をテキストとし読破しようと決めたものである。このテキストは平成 6 年（1994 年）まで 6 年をかけ、何と 51 回〔毎月抄読〕にわたり二度繰り返し読み切った。このテキストはそれほど多岐にわたり奥深い内容のもので、翻訳者の熊谷温生氏〔日本製靴研究所所長〕からも教示を頂いた。



【会員動向】

会員数：161 名、その構成は、医師 7 名、シューフィッターおよび靴販売 40 名、靴製造業 31 名、靴資材 14 名、フットケア関連 5 名、量販店・百貨店品質管理 9 名、義肢装具など医療靴製作 6 名、大学 7 名、公設試験研究機関 8 名、消費コンサルタント 15 名、報道関係・靴修理業・その他 19 名である。

役員は会長を置かず幹事 4 名で運営、その後幹事の交代もあるが、長谷川正博氏〔モリト (株)〕、天野博夫氏〔(株) 天野屋製作所〕、稲

次俊敬氏〔大阪府立産業技術総合研究所 皮革試験所〕、大木金次〔(株)大丸〕で行い会員からの要望などを参考に企画立案、講師の依頼、会場の手配、名簿管理、案内状の発送〔往復はがきで発信〕、受付、司会進行、会計を分担して運営した。

【活動経過】

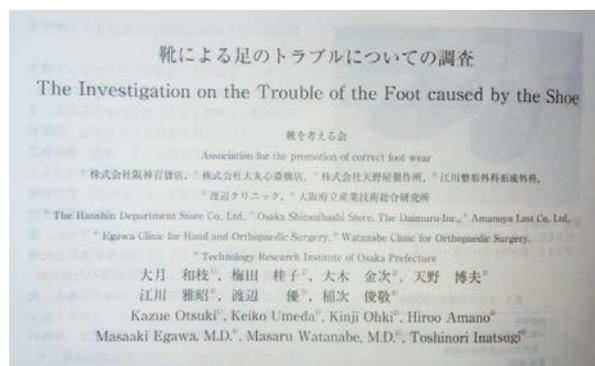
当初、会場はモリト（株）のご理解とご厚意により大阪の本社ビル講堂を無償で提供頂き、原則毎月第3月曜日午後7時から9時までの2時間行っていた。テキストの全文の読了を目的とし、担当者を予め決めておき、当日はその担当範囲について読後の感想、解説、疑問点を述べてもらい、これについて参加者全員で話し合うという形式をとっていた。参加者は全員当日の抄読予定分を事前に読みそれぞれに問題点、疑問点を準備してくるものとした。

【靴を考える会、に改名】

平成5年（1993年）に会場を（株）大丸本社会議室に移し、会の名称も「靴を考える会」に改称、同時に運営方法も輪読会と並行して時間の半分を研究会とし、講師を招いてその時々々のタイムリーな話題提供を盛り込むことにした。その後輪読会を縮小し、話題提供者を業界はもとより広く他業種からも求め、会員への様々な情報発信の会と変化している。参加者数はその時々々のテーマにもよるが、だいたい30～40名であった。しかしながら毎月開催は事務局の繁忙さなどにより運営が困難になり、平成14年（2002年）から例会を奇数月開催とした。

平成11年には、日本靴医学会で研究発表を行うことを目標に会員で共同して活動を行った。テーマは「働く女性に対する靴と足のトラブルに関するアンケート調査」を行い、千数百名より回答を得た。これらの結果を解析し靴医学会において発表した。調査の内容の中で、靴で足のトラブルが発生した時に誰に相談する？

という質問テーマに「薬局」という回答が意外に多かったことを記憶している。



日本靴医学会研究発表

【研究会のテーマ】

- ・ドイツにおいて靴のオーダーをこころみて：原田碩三氏〔兵庫教育大学名誉教授〕
- ・足について西洋と日本の考え方の違い：大築立志氏〔奈良女子大学〕
- ・足部の神経疾患・足と脳の関係：江川雅昭氏〔江川整形外科〕
- ・イギリスの医療事情と足に障害のある人の靴：大野貞枝氏（シューフィッター）
- ・外反母趾手術治療：町田英一氏〔日本大学板橋病院〕
- ・革の不思議：杉田正見氏〔日本皮革技術協会〕
- ・ひ弱になる日本人の足：近藤四郎氏〔京都大学〕
- ・マイスターの役割・外反母趾に適合する靴：E・ヘルプスト氏（独、シューマイスター）
- ・靴に対する問題、静電気について：稲次俊敬氏〔大阪府立産業技術総合研究所 皮革試験所〕
- ・ハッシュパピーアメリカ工場視察・ノードストロームの販売戦略：広瀬武意氏〔大塚製靴（株）〕
- …その他152回に及ぶ数々のテーマについて専門の方から教授を頂いた。

現在この会は平成24年（2012年）7月から再開され、隔月開催で一年半を経過している。

会場は毎回 45 名～ 50 名の出席者で、研究心旺盛な参加者が多く年齢層も若くいつも盛会である。会員は医師、医療従事者、大学教授、デパート、靴専門店、靴関連業者、フットケア関係、研究者、学生と、いろいろな職種の方々が肩書きなどなく集まっている。

この会は過去に 18 年ほど継続し、その後休会に入り再開に至ったもの。以前の「靴を考える会」と比較して多様な職種〔靴専門学校・フットケア専門家・足育アドバイザー等〕からの参加、また遠方〔福岡県・広島県・山口県・島根県・岐阜県・愛知県〕から、そして女性の出席者が多くその熱意に脱帽している。特にフットケア専門家の参加者が目立っており、今後靴販売とフットケアの同時経営の店がさらに多くなることが期待できる。

さらに様々な業種がこの会に参加を願いたいものである。

現在「靴を考える会」は代表幹事、阪田茂宏〔シューフィッター〕を中心に、幹事 9 名【野村美香、永田聖子、藤澤宏、黒岡和典、藤井恵、広瀬頼彦の各シューフィッターと岸本拓也〔パシフィックサプライ (株)〕、石田光江〔丸手印靴工房〕、上森洋哉〔ピドックス (株)〕〕により運営されている。

【会員・会場など】

会員数は 122 名〔平成 26 年 (2014 年 1 月現在)〕その構成は医師 3 名、シューフィッター及び靴販売 45 名、靴製造業・商社問屋 13 名、靴資材 9 名、フットケア 19 名、量販店・百貨店・品質管理 5 名、義肢装具など医療靴製作 7 名、大学講師 3 名、靴修理 1 名、その他 17 名である。

会場は川村義肢 (株) のご厚意でショップ、エイドセンター大阪 5 階会議室〔大阪市北区同心 2-5-22 TEL. 06-6356-1846〕において開催されている。会費〔当日〕1,000 円

時間、午後 7 時～ 9 時。参加については会員の紹介に限っている。

【活動のテーマ】

- ・ 第 1 回：整形靴：講師：眞殿浩之氏〔川村義肢 (株)〕その後、懇親会開催。
- ・ 第 2 回：皮革の基礎講座：稲次俊敬氏〔大阪府立産業技術総合研究所 皮革試験所〕



皮革の知識

- ・ 第 3 回：靴木型 (靴型) について：天野博夫氏 [(株) 天野屋製作所]
- ・ 第 4 回：健康は足元から：林英雄氏
- ・ 第 5 回：靴の資材と各特徴：長谷川正博氏〔モリト (株)〕
- ・ 第 6 回：足もとに寄り添う誠意ある接客～ホスピタリティシューフィッティングの提案：大木金次
- ・ 第 7 回：アシックスのスポーツシューズ開発のいろいろ：林英雄氏
- ・ 第 8 回：フットプリンターによる足部形態変化の抽出：菅家寿春〔バウアーファインド日本オフィス〕



フットプリンターによる足部形態変化の抽出

- ・ 第9回：知っておこう、子どもの足と靴：
林英雄氏
- ・ 第10回：快適な靴と足、フースフレーゲ：
藤井恵氏〔WOHLTAT（ヴォールタート）〕
上級シューフィッター



フースフレーゲ実演

終わりに

現在の「靴を考える会」の開始については、平成24年（2012年）に「前・靴を考える会（休会）」の同窓会を開催、そのとき今こそ靴の研究の重要さと交流会の必要性を訴える方が多くあり、会員から再開の話が持ち上がった。そこで阪田茂宏（シューフィッター）及び他の幹事の方々の強い熱意で立ちあがったものである。

情報発信は現在 facebook を中心に行っていることもあり、例会以外にも足や靴の出来事や質問事項が随時 facebook 上で交換されている。このような情報交換は、前「靴を考える会」には見られなかったことで広く深く研究する場として大変有意義であると感じる。また例会終了後も適宜懇親会が開かれ、そこから得る情報は非常に得難いものがある。

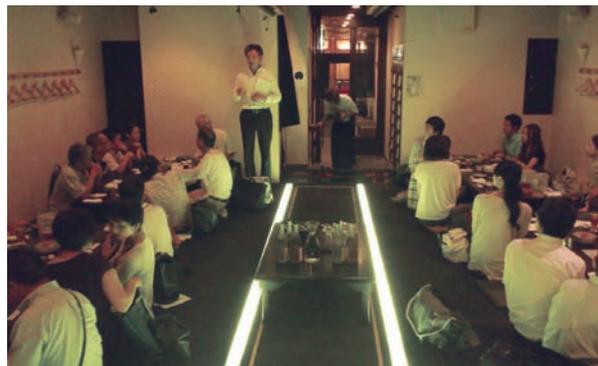
ご承知の通り足と靴に関する研究は非常に深いものがあり、さらに靴業を取り巻く環境は大変広い。靴を取り扱う前線（店頭など）では、それぞれの専門（医療機関・義肢装具・フット

ケア・インソールの製作加工・修理）の方々にお願いすることが多い。そのようなこともあり多方面の方に教示を頂くと共に強いネットワークの必要性が欠かせない。

今後とも多くの業種から参加者を得て「靴を考える会」のさらなる発展を期待したい。



講演会風景



懇親会



会員申込み、お問合せ

阪田 茂宏

「靴を考える会：代表幹事」
シューズショップコンドル店長
上級シューフィッター

TEL：090-3263-7749
e-mail：sakata@pc4.so-net.ne.jp

入会受け付けています。
基本的に参加は会員の紹介が必要ですが、直接の申込みは阪田茂宏宛にお願いします。
毎回の講師は、基本的に会員がそれぞれの仕事の専門、得意分野の講演を行っています。今迄の流れは皆様の希望に合わせながら、・足／靴関係のテーマ・足／靴関連従事の異業種交流・SNSを利用して案内、情報交換が頻繁に行われています。

FHA 会員向け「足サイズ計測調査事業（4歳～18歳）報告会」開催

日 時：2014年3月5日（水） 14：00～16：30

会 場：蔵前 皮革年金会館 4階「大会議室」

参加者：FHA 会員…他

報 告：楠本彩乃（株：シンエイ 商品開発研究室長）
解析実行／報告書作成



この報告会は平成 21 年度に日本皮革産業連合会が発表した、成人を対象とした計測結果報告に続くものとして、幼稚園から高校まで 18 校（4 歳～18 歳）男子 1643 名、女子 1758 名を対象に計測を実施、解析して平成 25 年 10 月にまとめた報告内容です。情報交流部会活動の一つとして FHA 会員向けに開催されました。尚、FHA は計測実行ワーキンググループ 13 名（上級 SF 中心）を指揮し計測活動を行いました。

内容が多くこの頁では十分な記載ができません。報告書内容データは、FHA ホームページからご覧下さい。

ID：fha パスワード：kmhs7646

● JIS-S 5037（子供用より：4歳～11歳以下）に当てはめた男女別出現人数

男子	A	B	C	D	E	EE	EEE	EEEE	F	G	H	計
14cm												
14.5cm					1							1
15cm				1	1	1						3
15.5cm				2	3	5	3					13
16cm				2	5	5	4		1			17
16.5cm				3	7	15	8		1			34
17cm				2	1	10	17	13	2	1		45
17.5cm				2	6	14	19	14	6			60
18cm				2	9	20	18	4				53
18.5cm				3	11	23	15	9	4			65
19cm				3	1	10	18	23	6	3		64
19.5cm				2	9	20	25	7	4	1		68
20cm				1	4	15	27	25	11	1	1	85
20.5cm				6	6	19	19	15	1	1		67
21cm				1	3	13	21	15	5	6		64
21.5cm				2	8	12	11	9	5			47
22cm				2	8	19	12	9	2	1		53
22.5cm				2	2	4	7	11	2	1		29
23cm				2	4	10	4	6	1			27
23.5cm				2	2	4	3	2				13
24cm				2	2	2	1	1				8
24.5cm							1	2				3
25cm							1					1
計				9	44	140	258	224	106	34	5	820

女子	A	B	C	D	E	EE	EEE	EEEE	F	G	H	計
14cm												
14.5cm					1	2						3
15cm				1	1	2						4
15.5cm				2	5	7	2					16
16cm				1	4	14	7	5		1		32
16.5cm				2	6	10	14	7	1			40
17cm				3	5	15	22	6	1			52
17.5cm				3	11	23	16	9	2	1		65
18cm				2	8	14	20	7	4			55
18.5cm				2	10	29	9	8	2	1	1	62
19cm				5	8	24	26	9	3	1		76
19.5cm				2	9	21	36	12	11	1		92
20cm				1	5	9	12	27	25	6		85
20.5cm				7	9	22	28	12	4	2	1	86
21cm				1	9	17	28	12	6	2		75
21.5cm				5	10	13	26	12	7	4		77
22cm				1	3	12	20	16	7	6		65
22.5cm				2	2	9	13	10	6	1		41
23cm				2	5	5	4	8	3	1		26
23.5cm				2	2	5	5	2	1			17
24cm				1	1	1	2	1				5
24.5cm						2	1	1	1			5
25cm						1						1
計				1	42	108	249	316	164	72	25	981

〈まとめ〉報告書より抜粋

現代の子どもの足長は 30 年前の子どもと比べると男女とも明らかに長いが、20 年前の子どもとではほぼ差はみられない。それにも関わらず、子どもが履いている靴の足長サイズはここ 20 年間で明らかに大きくなっている。現代の子どもは大きめの靴を履く傾向にあることがわかり、この傾向は女子よりも男子で著しい。足囲のここ 30 年間の変化も足長と同様であるが、足幅は 20 年前と比べても現代の子どもの方がさらに広いので、ボールジョイント（中足趾節関節）部の断面形状はここ 30 年間で現代の子どもが最も扁平であることがわかる。このように、現代の子どもには幾つかのプロポーションの変化が観察される。現代の子どもの足を親世代のそれと比較すると、全足長に比して後足部（中足趾節関節より後方）の長さの占める割合が大きく、足長に比して前足部（足幅）の幅は広めだが後足部（踵幅）は成長に伴って逆に狭くなり、趾部の高さは低く、足囲やインステップ囲も細いので、現代に向けて長さの割には厚みのない薄い足へと変化してきていることがわかる。さらに、現代に向けて第一趾側角度、内側角度とも増しており、これは第一中足骨が内反し第一趾は逆に外反していることを意味するので、ここ 30 年間で足底アーチの扁平化、とくに横アーチ低下による開張足傾向の足をもつ子どもが増加していることを伺わせる。こうした傾向は男子よりも女子で著しく、先に発表した成人を対象とした調査とまさしく一致する事象である。



● 2013 年度 (第 5 回) 「幼児子ども専門コース」 合格者一覧 (2014 年 1 月 1 日認定)



氏名	会社名
岩瀬 和幸	キャリアセンター
川崎 みのり	丸五
加藤 睦治	アサヒコーポレーション
津端 裕	アキレス
児島 諒	アシックス商事
福屋 るり子	靴企画・製造 バンカ

氏名	会社名
早川 雅司	高島屋 横浜店
久山 洋美	天満屋 岡山店
須崎 雄祐	楽歩堂博多阪急店(シューズクラトミ)
塩谷 祐策	リペアショップ コッポリ
松丸 由里子	大塚製靴
岸上 慎太郎	中山靴店

氏名	会社名
西川 知佐己	東急百貨店 たまプラーザ店
藤川 みゆき	SHOES STAGE
岩淵 千乃	京王百貨店
斎藤 友良	ぬしせ靴店
政川 真紀	消費科学研究所

(受講して) バチェラーやシニア専門コースを受講し、接客で実践する事で、足や靴、フィッティングの知識やスキルを自分なりに高めてきたつもりでした。これまで成人のお客様ばかりを接客してきた自分にとっては、今回「幼児子ども専門コース」を受講し、子どもの足や成長についてより詳しく学ぶ事ができ、「知っていて良かった!」と思えることができました。講義の中でお客様役の幼児の足に触れた時、柔らかな関節や皮膚の感触をとおして「このまま健やかに成長して欲しい。」という思いが心の底から湧きあがり、改めてシューフィッターとしてのスタート地点に帰ることが出来た、と感じた講座でした。
第 5 回受講 岩瀬 和幸

● 2014 年度 (第 6 回) 「幼児子ども専門コース」 開催

期日：2014 年 12 月 3～4 日予定 2 日間コース (東京) 受講料：66,000 円+税 仮予約受付中

● 2014 年度 (第 3 回) 「シニア専門コース」 開催

期日：2014 年 9 月 11～12 日 2 日間コース (東京) 受講料：66,000 円+税 仮予約受付中

● 2014 年度バチェラー (上級) コース受講受付中 (申込み〆切：5 月末) 受講料：260,000 円+税

スクーリング 9 日間日程 (案) 7 月 16～18 日 / 11 月 5～7 日 / 3 月 11～13 日 (写真は 2013 年度風景)



足型計測 青木 淳



シューフィッティング 召田 憲司



足の病氣と障害 井口 傑



パッキングワーク 阿部 薫

● SFC 補習講座「海外研修」のお知らせ

詳細はトレデュニオン VOL.46 (8 月号) 送付の封筒の中に申込み案内を入れますのでご覧ください。

場所：ドイツ・フランクフルト市中心に 日程案：2014 年 11 月 11 日～16 日

訪問：靴工場 靴資材工場 靴学校 商工会議所 ショップ 観光地 他 定員：30 名(FHA 会員、SFC 会員優先)

● 編集後記

今号より全頁カラー印刷、年 3 回の発行月は、4、8、12 月と致します。「東西補習講座」をメインに掲載しました。PC テキストの復習も兼ねて写真と共に確認下さい。

「日本はきもの博物館所蔵品の紹介」は、博物館の閉館に伴い残念ながら前号で終了となりました。館長丸山様、市田様お世話になり有難うございました。後日再開の際には宜しくお願い致します。皆様の投稿お待ちしております。

※シューフィッターの皆様：各地開催の本人参加による足や靴に関する講演会、計測会等の情報は事前にFHA事務局宛ご連絡ください。HP「シューフィッター活動報告」に掲載し、広く全国の消費者にもお伝えします。

※お願い：職場の異動や転職、自宅転居など変更がありましたら、すぐに事務局宛ご連絡ください。速やかに名簿の修正を行います。

● FHA/SFC 会員パスワードをご利用ください。 ID : fha パスワード : kmhs7646

表紙デザイン：株式会社ジャルフィック 池田 正晴

○・・・トレデュニオン・・・○

「トレデュニオン」は、フランス語です。英語では Hyphen (ハイフン) にあたります。FHA 事業理念をもとに FHA 会員、SF、SFC 会員の相互を密接に結ぶ情報誌という意味で命名しました。

VOL.45 (通算 80 号) 2014 年 4 月 1 日 発行
 (編集・発行) 一般社団法人 足と靴と健康協議会
 〒111-0032 東京都台東区浅草 7-1-9
 Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
 Email fha@tokyo.email.ne.jp URL http://www.fha.gr.jp/
 禁・転載複製